

# 東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion\_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2017年11月10日発行

第8号 (通巻第72号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

## ダイヤ改正における課題解決を求める

2016年度申11号 **ダイヤ改正の検証及び諸設備に関する申し入れ団体交渉**

新潟地本は10月25日、2016年度申11号・ダイヤ改正の検証及び諸設備に関する申し入れについて団体交渉を行いました。

列車乗り継ぎ時の作業い、把握していないとすると増加に伴い、乗り継ぎ時間支社側の姿勢を指摘、酒田を3分以上確保するよう求めましたが、支社側は現行通りで考えていると回答を示しました。

新幹線運輸区だけがプロジェクトが立ち上がり、ロージエクトが立ち上がらない状態であるため交渉団は、効率的かつ働きやすい行路を一生懸命作るうと意欲に燃える社員のハシゴを外さないで頂きたいと強く要望しました。

上中越支部は9月23日、たまたかの成果と課題「長岡運輸区講習室において第6回定期大会を開催しました。総勢52名の組合員が結集し、向こう一年間の方針を満場一致で決定しました。」

直江津地区分会の統合により組織体制は変わりますが、上中越支部の組織力は変わりません。



支社側は「検証はしていないが間に合っている」と思っている、限られた時間の中で焦るのは分かるが「矛盾している」として作業して欲しい」としました。

現在えちごトキめき鉄道(株)へ出向している出向者(株)の将来展望を明らかにするよう求めました。

「安全・安定輸送」に努めることで移動の手段にJR東日本グループを選択していただき、収入を確保してきたJR東日本グループで働くすべてのJR労働者の不断の努力の結果に他ならない。

「エルダー社員の会社における業務範囲拡大と労働条件の一部変更」に伴い人件費が増加する。人件費は社員数減により減少傾向にあったが今後は一定の底を打つ。

各運輸区におけるダイヤ改正プロジェクト等の成果と課題を明らかにするよう求めました。

中央本部は11月1日、申4号「2017年度年末手当に関する申し入れ」の第1回目の団体交渉を行いました。

過去最高を記録し、経常利益と四半期純利益が過去最高となった。

高い公共性を有している会社であることから、世間に突出感を与えることのないよう留意すべきだ。

## 2017年度年末手当第1回団体交渉 社員の努力に応え満額回答を



「安全・安定輸送」に努めることで移動の手段にJR東日本グループを選択していただき、収入を確保してきたJR東日本グループで働くすべてのJR労働者の不断の努力の結果に他ならない。

「エルダー社員の会社における業務範囲拡大と労働条件の一部変更」に伴い人件費が増加する。人件費は社員数減により減少傾向にあったが今後は一定の底を打つ。



**組合員同士、信頼、協力し合い、安心して働ける環境を創り出そう!**  
上中越支部第6回定期大会開催

(上中越支部投稿)